	No. <b>23</b> —	1 基本事務事業名		リエ活	動促進	事務事:	業名キ	ッズ野菜ソ	'ムリエ	育成事美	<b>公的関与</b>	8 シ	一ト作成日	令和4年	7月22日
	部局名	産業	経済部		課名	農業振			果長名		岡本正和		-ト作成者名		<b>‡</b> 久実子
	事業区分	● 1 ソフト事業			経常的事務事			金•負担金			運営方法	1 直		☑ 3 全	
	争未区力	○ 2 ハード事	•		施設の維持管	理	6 内部	管理事務		也	连占力丛		-部委託	4 補	助等
		基本構想(政策)						実施計	画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策)						1 該当		令利			·和 年		設定なし
		主要施策	(4)野菜	ソムリ	エの育成			2 非該当	á	根抗	処法令等	育てよう!	!阿波ベジキッス	でである。	業務実施要領
		対象(誰を、 何を)	内小学生												
		目的(どうい 最う状態にし			ノムリエを育成し 战の豊かさを認記										野菜等のPR
PL		たいのか) 今	年度												
AN		具体的にどのよ				の5つま	で)								
N		① キッズ野菜ソ													
	事業の	② 野菜の販売流	舌動や調理	実習、あ	あるいは各種イク	ベントにお	ける本市	産野菜等0	PR実	施					
	活動内容	3													
		4													
		5	1=1 66			1 22 11		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	. <i>h</i>	ede I	A 10 0	<i>-</i>	A 15 .	F	
		指標名	計算	以又に	指標設定理由	単位	_ <del>-</del>	令和	2 年		令和 3		令和 4	年度	最終目標
	数値目標	キッズ野菜ソムリエ育	<b></b>			人	目標 実績			60 80		60 62			
	(事業の目的 及び活動内	<b>と、                                    </b>	+=# ch				目標			80		02		2	
		キッズ野菜ソムリエ育! 開催数	<b>火</b> 萬坐			回	実績								
	を測る指標)						目標								
							実績								
	予算費目	会計		一般会	計	款		林水産業	費	項	1 農業費		目 5	農業振興	費
			令和	2	年度決算	令和	3	年度決	算	令和	4 年	度予算		備考	
		国庫支出金			千円				千円			千円			
		県 支 出 金			千円				千円			千円			
	直接事業費	地 方 債	= 1		千円				千円			千円			
D	正汉于不兵	その他特定財源			千円				千円			千円			
0		一般 財源	l		556 千円			580				,800 千円			
		計(A)	0.000		556 千円			580		0.000		, <mark>800</mark> 千円			
		正職員工数·経費		人	3,671 千円	0.600	人	3,653	千円	0.600	3	<mark>,625</mark> 千円			
		臨時·嘱託職種		1	0				7 FF	ı		0 -			
		臨時·嘱託工数·経費 業費(A+B)	(	人	0 千円 <b>4,227</b> 千円		人	4,233	千円		5	0 千円 .425 千円	1		
	土冲争。	大貝(ATD)			<b>4,22</b> / 十円			4,233	十四		5	<b>サムシ</b> 十円	I		

				Ŧ	エック項目					一次	マ評価		_	次評価の	の説明			二次	:評価	
		1.					確保できる等 響は大きくな		0	少ない	<ul><li>大き</li></ul>	ŧ۱۱	食育活動効果的に				0	少ない		大きい
	必要	2.					る緊急性が認		0	ない	<ul><li>ある</li></ul>	)	和2年度か	いら「キッス	ズ野菜)	ノムリ	0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の「	句上のために	、現在の手具	<b>殳、方</b>	法等の改善の余	戻地がある。	0	ある	● ない	١	エ」育成を 校における	だ推進する るクラス単	ため、 単位での	合小字   )任命	0	ある	•	ない
	1		住民ニーズの 上回るサーヒ			「隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	<ul><li>いな</li></ul>	ili	イベントを	開始して	います。	·	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するため	に、事業内容	字が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	<ul><li>● いえ</li></ul>	<u>.</u> る	徳島県で題性もあり				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度な	が著しく高いと	<b>まいえない</b> 。	0	いえない	● いえ	.る	向けて大	変有効な			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	:類似・重複	复した	:事務事業が存	在する。	0	する	<ul><li>しな</li></ul>	il v	きています	۲。		•	0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	としても成果	県の向上が期	明待で	きない。		0	できない	● でき	る				•	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗が	況が劣って	こいる	と思う。		0	目標に比	べて劣ってし	いる	目標を十分	分達成で	きている	ます。	0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果か	があまり上が	バって	いないと思う	0	0	あまり上た	ぶっていない					•	0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てい	ると思う。		0 1	概ね達成	たしている		1				0	概ね達成	してい	る
	,	4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	<b></b> して	いると思う。		<u> </u>	十分達成	えしている						•	十分達成	してい	<b>3</b>
		1.	効果に比べて	こコストが高	รีเ≀ <sub>∘</sub>				0	高い	● 適当	当	事業効果は適当で				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	削度を	活用できる。		0	できる	<ul><li>でき</li></ul>	ない	市から野	菜ソムリコ	組織か	(独立	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	:成果の関係	で、実施	-段等	を見直す余地	がある。	•	ある	○ ない	١	して事業派が必要で		きる体制	引強化	•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更	などにより	リコス	ト削減の余地	ヹがある。	0	ある	● ない	١					0	ある	•	ない
					_	次評	·価				<u>'</u>		•	=	次評価	i				
	評値	点	必要性	有効性	達成	芰	効率性	総合評	価	ļ	<b>必要性</b>	1	有効性	達成	支	効率性	ŧ	総	合評	価
		後の	<b>4</b> ○ 拡大・充	4 E実   ○ 明	<b> 4_</b> 見状維持		3 方法改善	A ○ 民間委i	1.生	0	<b>4</b> 拡大∙充	<u> </u>	<b>4</b> ┃○ 現状	4 :維持	● 方	<u>3</u> 法改善	<u> </u>		A 引委記	1.生
		対性	○ 縮小		終期設定		廃止/休止	〇 民間委託	L <del>寸</del>	<b>-</b>  0			<u>統合/終</u>			压以 在			リ女ご	L <del>寸</del>
A	731	317	○ #IB-13 ×	יום טעוי יין	小(为)[X 人		<b>光</b> 亚/			$\overline{}$			評価での					の相違点	i	
<b>T-0</b>	当武課			ムリエをサポ	ートしていく		〈増加しているが が課題です。ま			事										. + - +
N	と事	[行		削づくりが必?	要となります	。事務	ちに、今後、継 8局を野菜ソム 。			66	€プムリエ:	<b>→</b> <-	ニティ阿波	∠理携し	. ヤッ人	野米ソ	ムリエ	-の育成に	_穷《	) まり。
		会 事項																		

	No. <b>23</b> —	2 基本事務事			ンド推済	進事業	事務事	業名				事業	公的関	与 8	シー	ト作成日	令和4	年7月	]22日
	部局名		業経済			課名	農業振			主務課			岡本正和			作成者		川原	
	事業区分	○ 1 ソフト事				常的事務事				負担金·		重業:	運営方法		1 直営	•			<b>『委託</b>
	争未匹力	○ 2 ハード				設の維持管	理	6 内		書務∙-		, 于木.	连百刀及		2 一部			- 補助	り等
		基本構想(政								実施計画	1					開始・終			
	総合計画	基本計画(施								該当		令和		<b>₹~</b>	令和		王		
		主要施策	(2)	地域特	性を生	かした農産	物の生産		② 2	非該当		根拠	l法令等	伝統·技	兆戦・活ス	りの阿波市	農業振興事	業費補」	助金交付要綱
		対象(誰を、 <sub>)</sub> 何を)	農業関係	者															
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	県下一のできる条	の農業地 と件を整え	!域であることt えることと、市D	5生命のもる その理解と	ととなる 肖費に	食料を生	主産するī た農業を	†民にか 進めるご	いかせない ことによっ	産業であ て、本市農	ることを基業の維持	本的な ・発展	:考え方とし を図ります	、農業者 。	が農業	により生活
PL		たいのか)	今年度																
AN		具体的にどの																	
N		① 阿波市ブラ					_												
	事業の	② 阿波市農																	
	活動内容	③「ブランド育	育成品目	」につい	て、県の	D各種補助事	業の推進	と併せ	て、市島	単独によ	るきめ	細やかな	農業の扱	興策を	講じます	す。			
		4																	
		5		I = 1 ++ 1			- W. / I			A ==			A =-	, ,		A ==			
		指標名	<u> </u>	左集信	又は指	標設定理由	単位		Læ	令和	2 年		令和 :	3 年度		令和	4 年度		最終目標
	数値目標	制度利用者数					人	目				10			10			10	
	(事業の目的 及び活動内						+	実				- '			4				
	及び活動内 容の達成度							実										_	
	を測る指標)							目							_			_	
								実										+	
	予算費目	会計		<u> </u>	般会計		款			產業費		項 1	農業費	l		目	5 農業技	辰興引	ŧ
			令	·和	2	年度決算	令和	3	; <b>左</b>	丰度決算	<b>年   </b>	<b></b>	4	年度予	算		備考	<u>.</u> j	
		国庫支出				千円				Ŧ	円			-	千円				
		県 支 出	金			千円				Ŧ	円				千円				
	直接事業費	<u>地 方</u>	債			千円				Ŧ	円				千円				
D	正汉于不兵	その他特定則				千円					円				千円				
0		一般財	源			2,156 千円				7,645 =				2,500					
		計(A)	V # 0	700 '		2,156 千円		, ,		7,645 <del>T</del>		700 '		2,500					
		正職員工数:約		700 人		4,282 千円	0.700			<mark>4,262</mark> ∃	-円 0	).700 人		4,230	十円				
		臨時·嘱託職 臨時·嘱託工数·編		300 人	参与	<b>900</b> 千円	0.300		参与	957 <del>T</del>	т О	0.300 人	参与	892	T M				
		<sup>脳时・嘱託工数・1</sup> <b>業費</b> (A+B)	性其 U.	300 A		7,338 千円		人	10	2,864 <del>T</del>		).300 人		7,621					

					ェック項目						一次記	评価		_	-次評価の	の説り	月		二次	評価	ī
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		施	少な	il)	<b>②</b> 大	きい	展を目指	である農 すため、ff	也市町	「にはな	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	状況の中、次	年度以降写	実施す	トる緊急性が認	恩められな	い。	ない		<ul><li>ある</li></ul>	3	い本市独 な事業で	自の施策	であり	ノ、必要	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の向	句上のために、	現在の手具	ひ、 た	法等の改善の	余地がある	。 C	ある		<ul><li>ない</li></ul>	い	は事未じ	9 0			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーヒ			丘隣自	目治体と比較し	ノてニーズ	<del>اخ</del> (	いる		○ い	ない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	こ、事業内容	容が必	がずしも適切とに	はいえない	. C	いえ	ない	<b>●</b> い	える		続実施す 発展に有			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない	. 0	いえ	ない	<b>●</b> い	える	近年の農	業環境の	変化	に対応	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	と事務事業が存	存在する。	С	する		● した	ない	できる補.	助金メニュ す。	.一つ・	くりが進	0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が期	期待で	<b>ごきない</b> 。		С	でき	ない	<ul><li>でき</li></ul>	きる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状	況が劣って	ている	ると思う。			目標	に比べ	て劣って	いる		だ目標を選 、事業を網			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	けして成果が	あまり上た	バって	こいないと思う	5 .	0	あまり	り上がっ	ていない	١	することに	こより、農業			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	 対して概ね目	標を達成し	してし	いると思う。			概ね	達成し	ている		を図ってし	ハきます。			•	概ね達成	してい	გ
	12	4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	戊して	こいると思う。		O		達成し							0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高	い。				С	高い	١	<ul><li>適</li></ul>	当		事業の実			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウ	や新たな制	削度を	を活用できる。		0	でき	る	<ul><li>でき</li></ul>	きない	できる補具	代ニーズ <i>0</i> 助金内容(	の見ば	重しや新	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	☆成果の関係	で、実施	手段等	手を見直す余地	也がある。	•	ある		<u></u> ない	ر،		ューづくりる があります		i進めて	•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	ノコス	スト削減の余地	也がある。	С	ある		<ul><li>ない</li></ul>	い					0	ある	•	ない
					_	·次評	価		·						=	次評·	価				
	評値	五点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総	合評価		必	要性	7	<b>与</b> 効性	達成原	吏	効率性	生	総	合評	価
		後の	<b>4</b> <b>③</b> 拡大·充	4 	<u>  3</u> 状維持	ТО	<u>     3         </u> 方法改善	〇 民間	<u>A</u>  委託等		<b>O</b> :	<u>4</u> 拡大・3	<u></u> 女宝	<b>4</b>   ○ 現状	<u>3</u> に維持		<u>       3   </u> 方法改善	¢.		A 表	1生
		り性			<u>終期設定</u>	<del> </del>	<u> </u>	O KIB.	女心寸			縮小		統合/終			<u> </u>		O KIE		<u> </u>
A	/51		C all 1		141111 VC		DC III PI II				)	MD . J		評価での					の相違点	į	
ACT-O		重の題	近年の農業環 迅速に展開す			に対	応する阿波市	独自の有效	的な施	策を	典 樂:	漂培の		対応した							
N	と事 計	草案 官行 画	随時、事業内 す。	容の見直して	— ・新たなメニ	-ュー <sup>-</sup>	づくりを進め、対	 効果的な施	策を推済	進しま		·承·元 V J j	<b>Д</b> ILIC	- ^ J がいし/こ <sup>-</sup>	ᆓᄍᄭᆑᅙ	<del>ज</del> ∨25	に但して足	<u>-</u> ₩/み	7 0		
		員会 事項																			

	No. 23 —				足進·6次化推進連携·	事務事	業名阿湖	で市のいいもの販売促進・	・6次化推進連携	事業 公的関与	8 シ	一卜作成日	令和4年	7月22日
	部局名	盾	<b>E業経済</b>	部	課名	農業振	興課	主務課長	名	岡本正和	シー	-ト作成者名		原歩夢
	事業区分	① 1 ソフト?			3 経常的事務			金・負担金・支		業運営方法	1 直			:部委託
	争未区力	○ 2 ハーF			1 施設の維持	管理 〇	6 内部	『管理事務・その	D他 事	未连占刀仏	√ 2 −	-部委託	4補	助等
		基本構想(政	<mark>(策)</mark> 4. <u>5</u>	豊かで活力	」ある阿波			実施計画			事業	の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施			興と森林の保			)1 該当	令		<mark>~</mark> 令	·和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(2)	地域特性	を生かした農	産物の生産		2 非該当	根	!拠法令等	伝統・挑戦・	活力の阿波市農業	振興事業補	助金交付要綱等
		対象(誰を、 何を)	農業者、	加工品製造										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし		「心抜しまり ピールする を図ります	ことで、ブラン	すつたいいも	いを」入り出や更な	コーカンとして、M る生産意欲の喚	∄張る生産 起と収益の	者の熱い思い。 )増加を目指す	か込めら	れた認証品をル 、"農業立市・阿	波市"の	用質有ヘア イメージアップ
PL		たいのか)	今年度											
A					ますか。(主な									
N		0		農産物や加	工品の開発支	援並びに認	証。							
	事業の	② 認証品の												
	活動内容		他市町と	連携して設	置した「とくしま	六次産業化	推進連携	∮協議会」と共に	PR活動の	実施。				
		4												
		5	_	- 1 1:				1 4 7-		A		1 4 -		
		指標名	<b>占</b>	計算式又	は指標設定理	曲 単位		令和 2	牛皮	令和 3	年度	令和 4	年 度	最終目標
	数値目標	特産品認証数				品	目標 実績		25		0.6			30(R6)
	(事業の目的 及び活動内						日標		25		26 2		2	
	及び活動内 容の達成度	県外でのPR回数				回	実績		0		0			
	を測る指標)						目標		2		2		2	
		農産物加工所設施	置数			箇所	実績		2		5			
	予算費目	会 計		一般会	会計	款		林水産業費	項	1 農業費		目 5	農業振興	費
		•	令	和 2	年度決算	章 令和	3	年度決算	令和	4 年月	度予算		備考	
		国庫支出			1,148 =	千円		500 千円		5	00 千円			
		県 支 出	金		7	f円		千円			千円			
	直接事業費	地 方	債			戶円		千円			千円			
D	巨汉于不负	その他特定原				千円		千円			千円			
0		一般財	源		1,895 ∃			4,005 千円			69 千円			
		計(A)	/= -th		3,043			4,505 千円			69 千円			
	1 /4 弗 / 6 \	正職員工数:		500 人	3,059	F円 0.500	人	3,044 千円	0.500	人 3,0	<mark>21</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		, -	0 -	· m		0			0 7 5			
		臨時·嘱託工数· 業費(A+B)		人	0 = 6,102 =		人	0 千円 7,549 千円		人 67	0 千円 90 千円	1		
	土冲争	₹其(ATD)			0,102	-H		7,049 十円		0,7	<b>ガレ</b> 十円			

					ック項目						一次	マ評価		_	-次評価の	の説り	Ę.		二次	評価	i
		1.		なくても、公平 事業を廃止・					[施	)少	ない	O 7	大きい	意欲の喚	産品の創出 起、また	可波市	iのイ	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	恩められな	よい。 (	な	L1	● a	ある	メージアな事業で	ップに繋げ ま	るため	かに必要	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の余	余地がある	. (	) あ	る	● t <sub>0</sub>	るい	は事業で	9 。			0	ある	•	ない
		4.		の低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	ノてニース	(E)	)い	გ	<b>Ο</b> ι	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とに	はいえない	۰. (	い	えない	<b>●</b> ι	ハえる		続的に実			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、 カ	施策への貢南	伏度か	が著しく高いと	はいえない	۰. (	い	えない	<b>Ο</b> ι	いえる	業生産意	欲の喚起	、また	阿波市	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	存在する。		す	る	<b>Ο</b> ι	しない	のイメー:  事業です	ジアップに ·。	繋がる	る有効な	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	をしても成果の	D向上が期	待で	ぎきない。			) で	きない	<b>O</b> 7	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。			)目	標に比	べて劣っ	ている		品が阿波 証され、そ			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	<b>5</b> 。		) b	まり上か	べっていな	()		しています		גאווי אַ ר	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概	ね達成	している						•	概ね達成	してい	<u>る</u>
	^	4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。			) +	分達成	えしている						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	, <b>\</b> <sub>0</sub>					)高	ī۱۱	① ji	商当		目的を効には、斬業			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	か新たな制	度を	活用できる。			) で	きる	<b>O</b> 7	できない	ど、他市	町から実施	色してし	ハる類	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	心がある。		) あ	3	• to	<b>まい</b>	似事業の 必要があ	ソウハウã ります。	を取り	入れる	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	よどにより	コス	、ト削減の余地	也がある。		) あ	る	● t <sub>c</sub>	ほい					0	ある	•	ない
					— <u>}</u>	欠評	価							•	=	次評	西				
	評化	甲	必要性	有効性	達成度	۲۹	効率性	総	合評価		į	<b>必要性</b>	7	有効性	達成原	芰	効率性	生	総	合評	-価
	<u> </u>	多の	4 <b>⑥</b> 拡大·充	<b>│  4</b> E実	<u>  1</u> ∦維持	$\overline{}$	<b>4</b> 方法改善	〇 民間	<u>B</u> 引委託等	<u> </u>		<u>4</u> 拡大・	<u></u>	<b>4</b> ┃○ 現状	<u>7</u>   		<u>4</u> 方法改割	£		A 表記	 £笙
A		句性	○ 縮小	□ 統合/終			<u> </u>	O 1016	1女10千	_	Ö	縮小		統合/終			<u> </u>		O KIF	134	
C			0 1.2	TO WELL							Ť	1112	二次	評価での					の相違点	į	
ACTION		面の	特産認証品の	D拡大や今後に	おける効果	₹的F	PR方法を検討	する必要	がありま	す。				こ行い、"鳥	農業立市・	阿波市	市"のイメ	ージフ	アップを図	り販	 路の拡
Ň	وع		とによって、ブラ	知徹底を図り、特ランド産品の創出 サ同で立ち上げた	を図る必要	があ	ります。				大は	二繋げま	す。								
		員会 i事項																			

	No. 23 —	4 基本事務事業名	農山漁村	未来創造事	業	事務事業	名│農山	<mark>」</mark> 漁村未来創	造事業	公	的関与 6	シート作成し	日 令和4年	7月22日
	部局名	産業	経済部	調	名	農業振興	課	主務課長	名	岡本:	正和	シート作成者	名    大	道剛
	事業区分	○ 1 ソフト事業	(	3 経常的	的事務事業	• •	5 補助st	金・負担金・ラ	接	業運営	T .T	1 直営		È部委託
	争未区力	○ 2 ハード事業			の維持管理		3 内部管	き理事務・そ	の他 <sup>‡</sup>	未连占	刀压 2	2 一部委託	✓ 4 ¾	助等
		基本構想(政策)	4. 豊かで	活力ある阿	〕波			実施計画			<b></b>	₮業の開始・網	冬了	
	総合計画	基本計画(施策)					<u> </u>	1 該当		和	年 ~	令和	年     期間	設定なし
		主要施策	(2)地域特	特性を生かし	した農産物	の生産	0	2 非該当	7	艮拠法令	等 <sup>徳島県農林が</sup>	水産政策関係事業補助金交付	要綱・阿波市農林水産業振興	事業費補助金交付要綱など
		対象(誰を、 何を)	<b>美協同組合、</b>	安定的かつ	持続的経営	'体が主体	となり組	織する団体、	農業生産	法人等				
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最終)	終的ブラン	ド品目の生産	産力を維持、	増強する	取り組み	みや魅力を活	かす取り組	みを支持	爰し、地域農業	業の発展振興	を図ります。	
PL		たいのか) 今年	年度											
AN		具体的にどのよ												
N		① 地域農林水產											みを支援しま	す。
	事業の	② ブランド産地の												
	活動内容	③ 地産地消の推												
		4 食糧自給率の												
		⑤ 農山漁村の資					農林水產							
		指標名	計算:	式又は指標	設定理由	単位		令和 2			1 3 年度		4 年度	最終目標
	数値目標	制度利用者数				認	目標		3			8	12	
	(事業の目的						実績		11	1		13		
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						_ <del></del>							
							<u>日保</u> 実績			1				
	予算費目	会 計	_	-般会計		款		水産業費	項	1 農	業費	目	5 農業振り	L
	7 77 70 1		令和		度決算	令和	3	年度決算	令和	4	年度予算		備考	
		国庫支出金			千円			千円				f円	5	
		県 支 出 金		85,	724 千円			70,408 千円	3		59,314 =	f円		
	直接事業費	地 方 債			千円			千円	3		=	f円		
D	但按争未复	その他特定財源			千円			千円	3		=	f円		
0		一 般 財 源		4,	450 千円			2,019 千円	3		7	f円		
		計(A)			<mark>174</mark> 千円			<b>72,427</b> 千円			59,314			
		正職員工数·経費	0.600	人 3,	<mark>671</mark> 千円	0.600 ,	人	3,653 千円	0.600	人	3,625	f円		
		臨時·嘱託職種												
		臨時·嘱託工数·経費		人	0 千円		人	<b>0</b> 千円		人	0 =			
	全体事業	業費(A+B)		93,	845 千円			<mark>76,080</mark> 千円	3		62,939 <del>-</del>	f円		

					ツク項目				_ <u>`</u>	欠評価	j	_	-次評価の	D説明			二次	評価	
		1.				tが確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	•	大きい	強する取	品目の生産 り組みや、	農山村	寸の魅	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実施	西する緊急性が認 記載の表表	忍められない。	0	ない	•	ある		した取り組 あります。	]みを3	支援す	0	ない	•	ある
	性					方法等の改善の		•	ある	0	ない	の必安ル	·00949。			0	ある	0	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		4自治体と比較し	ノてニーズを -	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容が	「必ずしも適切と」	<b>まいえない</b> 。	0	いえない	•	いえる		様や施設 対率化と、=			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、 カ	を策への貢献!	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	•	いえる	図れます			1/19473	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複し	た事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果の	つ向上が期待	<b>手できない。</b>		0	できない	•	できる				•	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		0	目標にと	とべて劣	っている		コにより概れ 後も制度の			0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上がっ	ていないと思う	5 。	0	あまり上	がってい	ない	図ります		기미 사내	以近で	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成して	こいると思う。		0	概ね達成		る				•	•	概ね達成	してい	<b>პ</b>
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		0	十分達用	或してい	<b>a</b>				,	0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高し	١,			0	高い	0	適当		機や施設 効率化が[			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	5新たな制度	₹を活用できる。		0	できる	•	できない	711740	<i>≫</i> ] — 16 <i>/</i> 0°1	<u> </u>	70	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手段	と 等を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	ょどにより=	1スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
					一次	:評価							=:	次評価	ī,				
	評値	西点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	′価		必要性	生	有効性	達成原	ŧ	効率性	生	総	合評	価
	<b>△</b> ½	を の	3 ○ 拡大·充	<b>  4</b> E実   ● 現物	3  *維持   <i>(</i>	<b> 4</b> 〕方法改善	A ○ 民間委詞	4 生	O	3 垃土	<u> </u> 、·充実		3 ⊬維持	$\bigcirc$ 7	4_ 5法改善	É	 ○ 民間	A ほ	£笙
		句性				)廃止/休止	〇 民间安市	<u> </u>				統合/終			<u> </u>			1350	<u> </u>
A	73.					き者のニーズに応	じた取り組みも	公田は	_	AUT 3			指摘事項				D相違点	į	
ACTION		面の 題	できるよう支持 ブランド品目(	爰する必要があ	ります。 st、増強するI	取り組みや農山村			り 徳.		独の農業	<b></b>	きであるため						舌用でき
Ň	と 計	画	ブランド品目の	の生産力を維持	寺、増強する!	取り組みなどを支	援します。		る。	よう周知 	回や支援	を行います	o						
		員会 事項																	

	No. <b>23</b> —	5 基本事務事業	名 環境	保全型農	農業推進事業	事務事	業名環	境保全型農業	<b>直接支</b>	払事業	公的関与 8	ンート作成日	令和4年	7月22日
	部局名	産業	経済部		課名	農業振	興課	主務課長	長名	岡	本正和シ	一ト作成者名		‡久実子
	事業区分	○ 1 ソフト事業	-		3 経常的事務			金•負担金•		車業涯	'B'	直営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード事	•		4 施設の維持領	管理	6 内部	管理事務・そ		<b>事</b> 未进		一部委託	4 裤	助等
		基本構想(政策						実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策						1 該当		令和				設定なし
		主要施策	(2):	地域特性	を生かした農産	産物の生産	董 C	)2 非該当		根拠》	去令等 農業の有	「する多面的機能の	発揮の促え	進に関する法律
		対象(誰を、 何を)	業者											
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし	終的	環境保全	に効果の高い営	農活動をす	支援するこ	とにより、地球	えいない はいい はいい はいい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	:防止や生	生物多様性の保全	に貢献します。		
PL		たいのか) 今	年度											
AN		具体的にどのよ												
N		① 有機農業の				薬を使用し	ない取り	組み)						
	事業の	② カバークロッ		巴)の作付	け									
	活動内容	③ 冬期湛水の	実施											
		4												
		5		=1 & b	, , , , te , , , , , , , , , , , , , , ,	1 2271		1 A T-			^ T=	1 A T	<del></del>	
		指標名		計算式又	は指標設定理	由単位	□ <del>1</del> m	令和 2	4 年度		令和 3 年度 4	令和 4 :	牛皮	最終目標
	数値目標	取り組み面積				ha	<u>目標</u> 実績			3	<u>4.</u> 3.			
	(事業の目的 及び活動内						日標			3	ა.	0	3	
	容の達成度	取り組み件数				件	実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計	·	一般	会計	款		林水産業費		項 1	農業費	目 5 /	農業振卵	<b>型</b> 費
			令:	和 2	年度決算	「 令和	3	年度決算	令	和	4 年度予算		備考	
		国庫支出会	£		134 ∓	円		159 千日	円		<b>260</b> ∓F	9		
		県 支 出 🕏			67 千	円		79 千日	円		130 <del>f</del> f	9		
	直接事業費		責		千			千日			千F			
D	但以于不負	その他特定財源			千			千日			千円			
0		一般財源	京		67 ∓			79 ∓।			130 ∓F			
		計(A)	# 0 -		268 ∓			317 <del>+</del> 1			<b>520</b> ∓F			
		正職員工数·経費		200 人	1,224 千	円 0.200	入	1, <mark>218</mark> 千日	円 0.2	200 人	1,208 千F	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種		, ,	0 -			0			0	_		
	- 	臨時·嘱託工数·経療 業費(A+B)	Į į	人	0 1,492 千		人	0 ∓1 1,535 ∓1		人	0 ∓F 1,728 ∓F	_		
	+ 1/1 + -	A T D /			1 497 +			1.000 +			1.720 +	7		

				チュ	ック項目				— <b>2</b>	次評価		_	·次評価(	の説り	月		二次	評価	i
		1.		くても、公□	F性·公正性	生が確保できる等 も影響は大きくな		0	少ない	<b>●</b> 大	きい	農産物の全する必	安全な生	産環均		0 4			大きい
	必	2.				をする緊急性が認		0	ない	● あ	る	_, ,,				O 16	ない	0	ある
	要性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手段、	方法等の改善の余	余地がある。	0	ある	<b>●</b> な	()					O å	ある	•	ない
	_	4.	住民ニーズの 上回るサービ			舞自治体と比較し	<b>ノてニーズを</b>	0	いる	<b>○</b> い	ない					) l	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容が	が必ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	○ い	える	農産物に対 らえている				) ı	ハえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	·ネリ化など、カ	施策への貢献	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	● い	える	誤使用に。	よる生産環	境の破	と壊を防	ر (	ハえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で舞	頁似・重複し	<b>した事務事業が存</b>	存在する。	0	する	<b>⊙</b> ∪	ない	ぐ環境保全 安全・安心	な農産物	を消費		O 9	する	•	しない
KOHHCX		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期待	寺できない。		0	できない	● で	きる	できる農家	で又抜しる	<b>₹9</b> 。		7	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		0	目標に比	とべて劣って	いる	GAP等の め、環境(	要件が過	皇加され	れたた	() E	目標に比/	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	けして成果がも	あまり上がっ	っていないと思う	j 。	0	あまり上っ	がっていなし	۸,	みが減少			ノ収り組	○ to	うまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成して	ていると思う。		;	概ね達瓦							〇 相	既ね達成	してい	გ
	^	4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成し	していると思う。		_		<b>艾している</b>						• +	<b>上分達成</b>	してい	<u>る</u>
		1.	効果に比べて	コストが高い	, <b>\</b> <sub>0</sub>			0	高い	<ul><li></li></ul>	i当	国の要綱				<b>○</b> F	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	エのノウハウ	か新たな制度	度を活用できる。		•	できる	O Т	きない	施している 続きが複				• 7	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	: 成果の関係で	で、実施手段	<b>设等を見直す余地</b>	也がある。	•	ある	<ul><li>な</li></ul>	()					• t	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより=	コスト削減の余地	也がある。	0	ある	<b>●</b> な	い					O å	ある	•	ない
					一次	マ評価							Ξ	次評	価				
	評値	西点	必要性	有効性	達成度	110 1 1	総合評	価		必要性	1	有効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
		後の	<b>4</b> ○ 拡大·充	<b>4</b> 実	<u>        1                             </u>	2 ◉ 方法改善	<b>○ 民間委</b> 記	1年	0	<b>4</b> 拡大・	 女宝	<b>4</b>	<u>2</u> ₹維持	<u> </u>	<u>       2   </u> 方法改割	<u> </u>		B 系記	1生
		句性	○ 縮小	<b>大   し 坑1</b>		○ 廃止/休止	〇 以间安市	<u> </u>		71.		<u> 統合/終</u>			<u> </u>	_		又口	<u> </u>
A									Ĭ	11111		評価での					相違点	į	
ACT-O		面の		略」の目標には		していますが、国 取り組み面積の‡			3	少饭油		振興計画は							
X	と事 計	革案 と行 画	第3次阿波市 について検討		の中で、環境	<b>き保全型農業の取</b>	り組みを推進す	する施		· ベヘド"」//X 「	□灰木1	水光 田田・	- 坐 ノC、	4スソル	· ·	, C11 C	<b>= 6 7</b> 0		
		員会 i事項																	

	No. 23 —	6 基本事務事	業名 農業	法人組織	化等促進支援事	事業事	務事業律	3 農業	法人組織	化等促进	進支援事業	業 公的関与	8 シ	一卜作成日	令和4年	4月24日
	部局名		業経済	部	課名	農	業振興語	-	主務認			岡本正和		-卜作成者名		井勝大
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務		_		€∙負担金		<b>+ + +</b> .	運営方法		営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	寺管理	0 6	内部管	<b>管理事務</b>			连古刀丛		-部委託	✓ 4 有	助等
		基本構想(政							実施計	画				の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施			長興と森林の保	*全		0	1 該当		令和					設定なし
		主要施策	(5)	多様な担	い手の育成			<u> </u>	2 非該当	<u> </u>	根拠	l法令等	伝統·挑戦·	活力の阿波市農業	<b>Ě振興事業費</b>	補助金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	農業関係	者												
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	農業設備	i等のコストを削	減し、	農業経営る	を持続す	また改善で	きる体制	制を確立す	するため、鳥	農業経営の	法人化等の取	り組みを	支援します。
PL		I " " — I I	今年度													
AN					ヽますか。(主ケ	なもの	5つまで)									
N		0	の法人化	2等の取組	を支援します。											
	事業の	2														
	活動内容	3														
		4														
		5	7	-  <i> -</i>		ш — П з	¥ / <b>⊥</b>		<b>△</b> 1⊓	о <i>Г</i> т	<b>#</b>	<b>△1□</b> ○	左曲	<b>△1</b> □ 4	左曲	目幼口挿
		指標名	<u> </u>	計昇丸〉	ては指標設定理		単位	目標	令和	2 年	· <u></u> 2	令和 3	<u>年度</u>	令和 4	<u> </u>	最終目標
	数値目標	農業法人化等数					<i>*</i> /\tau	<del>口惊_</del> 実績			0		0			
	(事業の目的 及び活動内							目標					- 0			
	容の達成度							<u>1 版</u> 実績								
	を測る指標)							<u>八년</u> 目標								
								<u> </u>								
	予算費目	会計		一般	会計	•	款	農業	集振興費		項 1	農業費		目 5	農業振興	<b> </b>
			令	`和 2	2 年度決	算	令和	3	年度決	算	令和	4 年	度予算		備考	
		国庫支出			:	千円				千円			千円			
		県 支 出	金			千円				千円			千円			
	直接事業費	地方	債			千円				千円			千円			
DO		その他特定則				千円				千円			千円			
U		一般財	源			千円			100				50 千円			
		計(A)	文弗 0	100 人		千円 (	0.100 人			千円	0.100		50 千円			
	人件費(B)	正職員工数·約 臨時·嘱託職		100 人	612	TH (	0.100 人		009	千円 (	0.100 人	,	604 千円			
		一四甲寸 があるし卵	が王													
_		臨時·嘱託工数·	経費	人	n -	千円	人		Ω	千円	人		0 千円			

				チェ	ック項目					_	·次評·	/冊		_	一次評価	の説	38		二次	* 証 征	ī
		1.	市が実施した	なくても、公平		性か	「確保できる等	・、他の実施	0	少ない					業である農			0	少ない		
	١.,			事業を廃止・					$\cup$	少なし	,   •	大き	۲١,	展を目指	すための	本市?	独自の施		少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	<b>犬況の中、次</b> 年	F度以降実	施す	る緊急性が認	見められない。	0	ない	•	ある		策であり	、必要な	事業で	す。	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手段	<b>と、方</b>	法等の改善の余	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.		の低下がみられ ビスとなってい		隣自	治体と比較し	, てニーズを -	•	いる	С	) いな(	い					•	いる	0	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	<b>はいえない。</b>	0	いえな	い	) いえる	3		人化する を受ける			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、カ	色策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 🧿	) いえる	る	継続実施	もすること	ま、農		0	いえない	•	いえる
CH	効性	3.	市が実施する	る施策の中で舞	頁似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	い	持発展に	こ有効です	0		0	する	•	しない
E		4.	事業の継続る	をしても成果の	つ向上が期	待て	<b>ごきない。</b>		0	できな	い	) できる	<b>3</b>					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る		標を達成業を継続			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上が	うて	こいないと思う	j <sub>o</sub>	0	あまり_	上がって	いない		ことによ	り、農業法	人をi	育成し、	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成して	いる		本市農業 す。	業の維持発	き展を	図りま	0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	を成して	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	١,				0	高い	•	適当	á		内容の見直			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	*新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	) できた	ない		トる必要が			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	と成果の関係で	ご、実施手	段等	手を見直す余地	也がある。	0	ある	С	ない						•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更な	ょどにより	コス	く ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	価				•			•	_	.次評	価				
	評値	点	必要性	有効性	達成原	支	効率性	総合評	価		必要		1	<b>有効性</b>	達成	度	効率	生	総	合評	価
	<u></u>	後の	3 ○ 拡大·充	<b>│ 4</b> ⋶実	<u>2</u>	0	<b>2</b> 方法改善	B ○ 民間委i	1生	1	3 ○ 拡	 大·充	宇		<u></u> 犬維持		3 方法改善	É		B l委i	4笙
		り性	○ 縮小	□ 統合/終			廃止/休止	〇 以间安市	<u> </u>	_	分縮				以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 り り り り り	_	廃止/休		O KIF	134	
C			0 111	10 33274	.,,,,,,,,		70				<u> </u>	_	二次		り指摘事	_			の相違点	į	
T-0	当課	題	目標達成に向	句けた、有効的	な施策を迂	速に	展開する必要	があります。							-問題の解					ナ。今	後も法
N			事業内容の加	太報の充実						7)	、化を打	推進し、	、本市	<b>「農業が</b>	発展できる	よう事	፤業を行し	います	0		
		曼会 事項																			

	No. 23 —	7 基本事務事業名	中山間地域等直	接支払交付金事業	事務事業	名中山	間地域等直接支	払交付金雪	工業 公的関与	2 シ	一ト作成日	令和4年	4月24日
	部局名	産業総	Z済部	課名	農業振興	課	主務課長名	呂	岡本正和	シー	-ト作成者名	玉井	‡久実子
	事業区分	○ 1 ソフト事業		3 経常的事務事	業   ● 5	5 補助st	金•負担金•支	援	美運営方法 -	1 直		□ 3 全	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード事業		4 施設の維持管	理 0 6	5 内部管	管理事務・その	)他	建呂刀広		-部委託	✓ 4 有	助等
		基本構想(政策)					実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策)					1 該当	令和		<mark>~</mark> 令	和 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)農用地の	保全		0	2 非該当	根	拠法令等	農業の有す	「る多面的機能の	)発揮の促	進に関する法律
		対象(誰を、 何を) 集落	協定により5年	間の農業生産活動	)等を行う組	織							
		目的(どうい 最終)	農業生産	条件が不利な中山	間地域にお	いて、耒	#作放棄の発生	を防止し、	農用地の多面	i的機能₫	)確保を図りま	す。	
24		たいのか) 今年		こ基づく多面的機			構に向けた取り	組みに対し	交付金を交付	けし、継続	して事業を推済	進します。	
AZ		具体的にどのよう		ますか。(主なも	の5つまで	•)							
N		① 耕作放棄防止											
	事業の	② 水路・農道等の											
	活動内容	③ 多面的機能の	増進(景観作物	の作付や周辺林は	也の下草刈	り、ビオ	トープの確保な	(ناخ)					
		4											
		5	1=166 5 -	, , 16 (m = 0 - 1 - m )	3271		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<i></i> 1	A T= -	<del></del>	A T	<b></b>	
		指標名	計算式又	は指標設定理由	単位		令和 2		令和 3		令和 4	年度	最終目標
	数値目標	協定参加者			戸	目標 実績		625 556		560 556			
	(事業の目的 及び活動内					<u>天</u> 碩 目標		250		250		250	
	双び活動内 容の達成度	事業対象面積			ha -	<u>日保</u> 実績		240		239		200	
	を測る指標)					<u>天順</u> 目標		240		239			
						実績							
	予算費目	会 計	一般:	会計	款		木水産業費	項	1 農業費		目 5	農業振り	具費
			令和 2	年度決算	令和	3	年度決算	令和	4 年月	度予算		備考	
		国庫支出金		千円			千円			千円			
		県 支 出 金		27,171 千円			27,182 千円		27,5	45 千円			
	直接事業費	地 方 債		千円			千円			千円			
D	但该学术员	その他特定財源		千円			千円			千円			
0		一般財源		11,600 千円			11,498 千円			93 千円			
		計(A)		38,771 千円			38,680 千円			· <mark>38</mark> 千円			
				0.050	0.500	į .	3,044 千円	0.500	人 3,0	21 千円			
		正職員工数·経費	0.500 人	3,059 千円	0.500	^ _	0,011	0.000	, , ,	21 111			
	人件費(B)	臨時·嘱託職種	· · · · ·					·					
	人件費(B)		人	3,059 千円 0 千円 41,830 千円		<u>۸</u>	0 千円 41,724 千円	·	<u>ا</u>	0 千円 ·59 千円			

				チェ	ック項目					一次	:評価		_	次評価の	の説明			二次	評価	
		1.		なくても、公平 事業を廃止・	4性・公正				〇 少	ない	● 大き	٤L١	耕作放棄	地発生防	止等0	)活動	0	少ない		大きい
	必	2.		<del>- 事業を廃止・</del> 犬況の中、次年					<ul><li>ない</li></ul>	ر، د	<ul><li>ある</li></ul>	)	により、多 ります。	· <b>田</b> 的機能	ジリコス	<b>進を凶</b>	0	ない	0	 ある
	要性	3.	住民満足度の同	句上のために、	現在の手段	、方法	去等の改善の余	余地がある。		 გ	<ul><li>ない</li></ul>						Ō	ある	_	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		:隣自	治体と比較し	,てニーズを	O 1/2	გ	● いな	il)					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	が必っ	ずしも適切とは	はいえない。	○ w	えない	<ul><li>● いえ</li></ul>	.る	上流部の の多面的				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	レネリ化など、放	<b>施策への</b> 貢献	献度が	著しく高いとに	はいえない。	○ <i>い</i> ź	えない	<ul><li>いえ</li></ul>	.る	住民の生	命・財産と	≥豊か≀	な暮らし	0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	する	る る	<ul><li>しな</li></ul>	:۱۱	が守られる				0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	としても成果 <i>の</i>	つ向上が期	待で	きない。		<ul><li>でき</li></ul>	きない	● でき	る	が見込ま	れます。	_		0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる。	と思う。		〇 目 <sup>‡</sup>	標に比	べて劣ってし	いる	平地に比ぐ 耕作放棄の				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	ちまり上が	ってし	いないと思う	j <sub>o</sub>	<ul><li>あま</li></ul>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	っていない		集落協定に	こより5年間	引継続し	て多面	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		<ul><li>概据</li></ul>	ね達成	している		策です。集	落協定に	定められ	1た事項	•	概ね達成	してい	る
	}	4.	目標設定に対	対して十分に目	標を達成	して	いると思う。		O +:	分達成	している		については	、概ね達用	灭してし	います。	0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	١,				〇 高	ر،	● 適当	<b>当</b>	事業の実				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	5新たな制	度を	活用できる。		● で	きる	○ でき	ない	綱・要領に た、独自の	りシステム	ℷで管₹	里する	•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	<u></u> ත්	<b>3</b>	● ない	١	など、事務 います。	<b>祭コストの</b>	削減を	·図って	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	がある。	<u></u> ත්	3	ない	١					0	ある	•	ない
					— <u>;</u>	次評值	西						•	=	次評価	<u> </u>				
	証布	西点	必要性	有効性	達成度	支	効率性	総合評	価	Ą	<b>必要性</b>	1	有効性	達成原	吏	効率性	生	総	合評	·価
			4	4	3		3	A	- LL		4	<u> </u>	4	3		3	_		Α_	
		多の	○拡大・充				方法改善	〇 民間委詞	t等	$\bigcirc$	拡大・充	1	● 現状			5法改善			]委	t等
A	יוכל	句性	○ 縮小	○ 統合/終			廃止/休止			0	縮小	10	統合/終			整止/休 次記		の出済は		
C	N/ =	<b>-</b> Φ		)高齢化や担い								—火	:評価での	指摘 <del>事</del> り	以及り	一次評	回と	<b>刀</b> 相遅点		
Ţ				₹が困難な状況 す。今後も農業																
0	•			への農地集積を					2.000	油工	:ι− ᄈ+₩ σ	ᄾᄱᄼ	*管理などが	が怎わわ	Z トニ	ҧ <del>ᆕ</del> ҂і	一女又又	ムナナ		
N		革案	田作の基本に	こおける集落協	ウルトス形	7.1.1.4日 2	なが終する	レレナ <i>I</i> - 典地:	が単地し		二、辰地(	八木土	「日垤なこ	J1117716	のかり、	明日寺!	~ <del>55</del> 0	りまり。		
		€行 ·画	して維持され、	-のける未洛師、将来にわたっ	て多面的材	後能が	が発揮されるこ	とを確保してい	いきます。											
		当会																		
		貝宏  事項																		

	No. <b>23</b> —	8 基本事務事			里事業	事務事	業名 農地	也中間管理事	業		公的関与 2	シート作成	付 令和⊄	4年7月22日
	部局名		業経済		課名	農業振り		主務課長		岡	本正和	シート作成		中倉惇仁
	事業区分	<ul><li>1 ソフト事</li></ul>			3 経常的事務事			金•負担金•支		李浬	営方法 二十二			3 全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務・その	D他 <sup>ヨ</sup>	木廷	✓ 2	7,210		1 補助等
		基本構想(政						実施計画			事	業の開始		
	総合計画	基本計画(施			興と森林の保全		<b>(</b>	1 該当		<b>う和</b>	年 ~	令和	年 🗵 期	月間設定なし しょうしん
		主要施策	(4)	農業生産	基盤の整備		0	2 非該当		根拠為	法令等 農地中	口間管理事業	業の推進に関	員する法律
		対象(誰を、 何を)	雛農者等	の農地										
	事業の 対象・目的	目的(どういう)	最終的	農業経営	の効率化や生産コ	ストの低派	<b>咸、耕作</b> 放	棄地の未然防	近のため	りに、キ	也域の担い手への	の農地集積、	、集約化を仮	産進します。
PL		たいのか)	今年度											
AN					ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 農地の貸し		/手の募集	・把握									
	事業の	② 農地のマッ												
	活動内容	③ 農地中間的	管理機構	を通じたる	引用券の設定									
		4												
		5												
		指標名	1	計算式又	は指標設定理由	単位		令和 2			令和 3 年度		1 4 年度	最終目標
	数値目標	貸付面積				ha	目標			4		4		35
	(事業の目的						実績		1	<del>/</del>		22		
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						<del>天</del> 棋 目標							
							実績							
	予算費目	会 計			<del></del> 会計	款		▲ 水産業費	項	1	農業費		5  農業	振興費
	,,,,,,,,,	HI	수	和 2		令和	3	年度決算	令和		4 年度予算		備者	
		国庫支出		111	千円	1- 111		千円				円	14113	•
			金		千円			千円			Ŧ	-円		
	<b>本拉市米弗</b>	地 方	債		千円			千円			Ŧ	円		
D	直接事業費	その他特定財	<b></b> 排		2,794 千円			2,870 千円			3,006 ∓	円		
0		一 般 財	源		千円			千円			Ŧ	円		
		計(A)			2,794 千円			<b>2,870</b> 千円			3,006 <del>T</del>	円		
		正職員工数·紹		500 人	3,059 千円	0.500	* *	3,044 千円			3,021			
	人件費(B)	臨時·嘱託職			理事業推進員		間管理	事業推進員			管理事業推進員			
		臨時·嘱託工数·約	径費 1.	000 人	1,980 千円	1.000	人	2,035 千円	1.000	人	1,733			
	全体事業	業費(A+B)			7,832 千円			7,949 千円			7,760 +	· <b>A</b>		

					チェ	ック項目					一次	マ評価		_	次評価(	D説明			二次	評価	ĺ
					も、公平	性・公正		確保できる等 響は大きくな		0 :	少ない	<ul><li>大き</li></ul>	きい	農地集積 の生産性	•集約化力	が進み、		0	少ない		大きい
	必							る緊急性が認		O 7	ない	<ul><li>ある</li></ul>	5	の解消に				0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の「	句上のか	ために、耳	現在の手段	と、方:	法等の改善の分	戻地がある。	0 ;	ある	<ul><li>ない</li></ul>	,1	1			İ	0	ある	•	ない
	1		住民ニーズの 上回るサート				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0 1	いる	● いた	3L1					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	るために、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0 1	いえない	• いえ	<b>t</b> a	農地集積に有効な				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化	たなど、施	策への貢	献度が	著しく高いと	<b>まいえない。</b>	0	いえない	● いえ	ŧ3	事業を進				0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の	の中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0 -	する	● した	ζl۱	1			İ	0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	をして:	も成果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	<ul><li>でき</li></ul>	<b></b> ₹る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対してi	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0 1	目標に比	べて劣ってし	いる	借受希望 希望者は				0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して月	<b></b> 成果があ	まり上が	うて	いないと思う	0	( ) t	あまり上か	ぶっていない		きく増加し				0 1	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して村	概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		○ #	既ね達成	している		1			İ	O :	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して-	十分に目	標を達成	して	いると思う。		<ul><li>-</li></ul>	十分達成	えしている						•	十分達成	してい	<b>3</b>
		1.	効果に比べて	てコス	トが高い	0				O i	高い	<ul><li>適</li></ul>	当	農地中間 を配置し、				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノ「	ウハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	● でき	きない	図っている		「マレノ日リルツ	ه د	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	と成果(	の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	oがある。	O i	ある	<ul><li>ない</li></ul>	,1					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法(	の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	ヹゕ゙゙ある。	O i	ある	<ul><li>ない</li></ul>	,1					0	ある	•	ない
						-:	次評·	価						•	=	次評価					
	評値	点点	必要性	有	効性	達成原	支	効率性	総合評	価	ļ	<b>必要性</b>	7	有効性	達成原	麦	効率性	ŧ	総	合評	価
		後の		 	<u>4</u> ┃ <b>⑥</b> 現状	<b>4</b> ≥ 4# +±	$\rightarrow$	<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委記	1.4±	0	<b>4</b> 拡大∙ਤੇ	z <del></del>	<b>4</b>   ┃ <b>◎</b> 現状	4 ·%#+±		<u>4</u> 法改善	<u> </u>		A 『委言	1.生
		対性	○ 縮小		統合/終			<u>万压以告</u> 廃止/休止	〇 民間委託	L <del>寸</del>	<b>-</b> 6	縮小		統合/終			<u> </u>		〇 民間	]女百	L 守
A	731.	712	○ #IB13	10 "	PL ロ / 小ミ	WIEVE		<b>元</b> 亚/			$\overline{}$	Villa . 1		評価での					)相違点	į	
<b>H-0</b>			農業従事者の め、借り手側の						加すると予想	されるか		也中間管理		について、							、情報把
N	改革と実計		本事業の一層 保全や耕作加					農地の集積、	集約を促進され	生、農地		こ努めます	۲。								
		<b>曼会</b> 事項																			

	No. <b>23</b> —	9 基本事務事業			ン事業	=	事務事業	名人・	農地プラ	ン事業		公的関	与 2 シ	レート作成日	令和4年	
	部局名	産	業経済		課名		農業振興		主務認			岡本正和		ート作成者名		倉惇仁
	事業区分	<ul><li>1 ソフト事</li></ul>			3 経常的事務				€∙負担金			美運営方法		直営		҈部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	宇管理	0 6	内部管	管理事務 <sup>·</sup>		他 <sup>サオ</sup>	建名刀龙		一部委託		亅
		基本構想(政策							実施計	画				業の開始∙終〕		
	総合計画	基本計画(施策				全			1 該当		令和			6和 年		設定なし
		主要施策	(4)	農業生產	基盤の整備			0	2 非該当	á	根	拠法令等	人·農地	問題解決加速	化支援事業	業実施要綱
		対象(誰を、 <sub>「</sub> 何を)	<b></b>													
	事業の 対象・目的	目的(どういう) 対態にし	最終的		の中心となる経 により、「人・農±										地域におけ	る徹底的な
PL		たいのか)	今年度													
AN		具体的にどの						)								
N		① 地域の中心					0									
	事業の	② 地域農業都														
	活動内容	③ 阿波市人・						を協議)								
		④「人·農地フ	プラン」の	実質化に	向けた工程表を	を作成	• 0									
		5														
		指標名			ては指標設定理		単位		令和	2 年		令和 :	3 年度	令和 4	年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	中心となる経営体数	汝		の担い手の確何 課題であるた <i>め</i>		経営体	目標 実績			315 384		320 394			
	及7℃活動内	協議実施回数					0	目標 実績							10	
	を測る指標)							目標								
								実績								
	予算費目	会計		一般	会計		款	6 農材	水産業	貴	項	1 農業費	ŧ	目 5	農業振り	<b>具費</b>
			令	`和	2 年度決算	算	令和	3	年度決	算	令和	4	年度予算		備考	
		国庫支出			=	千円				千円			千円	3		
			金		=	千円				千円			千円	3		
	直接事業費		債			千円				千円			千円			
D	但以于不负	その他特定財				千円				千円			千円			
0			源		38 =				25				87 千円			
		計(A)			38 =				25				87 千円			
		正職員工数·経		400 人	2,447	千円	0.400		2,435	千円	0.400	<u>ا</u>	<mark>2,417</mark> 千円	1		
		臨時·嘱託職														
		臨時·嘱託工数·約	<b>全</b> 費	人	0 =					千円		<u>ا</u>	0 千円			
	全体 事事	業費(A+B)			2,485	千円1			2,460	千円			2.504 千円	<b>3</b> I		

					ック項目				一次	マ評価		_	-次評価の	D説明			二次	評価	
		1.	市が実施しなく主体があり、事					0	少ない	•	大きい	の生産性	・集約化 <i>た</i> の向上や	耕作放	棄地	○ 4	かない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	の中、次年	度以降実施す	トる緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある	の解消に	必要な施	策です。	,	し な	il)	•	ある
	性	3.	住民満足度の向上	のために、珍	見在の手段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない					O あ	iる	•	ない
		4.	住民ニーズの低 上回るサービス			治体と比較し	ノ <b>てニーズを</b>	0	いる	•	いない					) i	る	•	いない
		1.	施策の目的を実現	するために、	事業内容が必	がずしも適切とに	<b>まいえない</b> 。	0	いえない	•	いえる		・集約化を 施策であ <sup>し</sup>			○ t	えない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ	リ化など、施	策への貢献度が	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	•	いえる		める必要な			○ v	えない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する施	策の中で類	似・重複した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					<u></u> ਰ	る	•	しない
CHECK		4.	事業の継続をし	ても成果の	向上が期待で	<b>ごきない</b> 。		0	できない	•	できる					O 7	:*きない	•	できる
CK		1.	目標設定に対し	て進捗状況	が劣っている	ると思う。		0	目標に比	べて劣:	っている		し手が少れ は は は が減少			<b>○</b> 目	標に比^	で劣・	っている
	達	2.	目標設定に対し	て成果があ	まり上がって	こいないと思う	5 。	0	あまり上が	がっていた	<b>まい</b>	今後、耕	作放棄地	ょどを把	握し、	O あ	まり上がっ	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対し	て概ね目標	を達成してし	いると思う。		0 ;	概ね達成	えしている	5		管理事業 ・進める必			〇 概	ね達成し	ている	<b>3</b>
		4.	目標設定に対し	て十分に目	標を達成して	こいると思う。		<b>O</b>	十分達瓦	<b></b>	3	す。				• +	·分達成l	してい	<b>3</b>
		1.	効果に比べてコ	ストが高い	0			0	高い	•	適当		見 管理事業 、事務⊐ス			〇 高	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体の	ノウハウや	新たな制度を	と活用できる。		0	できる	•	できない	図ってい		1*U/H1//	<sup>ሢ</sup> ፫	O 7		•	できない
	性	3.	予算・人員と成:	果の関係で	、実施手段等	<b>手を見直す余</b> 地	也がある。	0	ある	•	ない					O В	i3	•	ない
		4.	電子化や契約方法	法の変更な	どによりコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない					O В	iる	•	ない
					一次評	価				•		•	=	次評価					
	評値	西点		有効性	達成度	効率性	総合評	価		必要性	E 7	有効性	達成原	ŧ	効率性	ŧ	総	合評	価
	<b>△</b> ½	を の	3 ○ 拡大·充実	<b>4</b>   ┃	<b>4</b> :維持 〇	<u>       2        </u> 方法改善	A ○ 民間委i	1笙	0	3 垃土	<u> </u>	<b>4</b>   ● 現状	4 ├維持	<u></u>	<u>3</u> 法改善	<u> </u>	)民間	A 承卸	华
		句性		<del></del>		廃止/休止	〇 民间安市	<u> </u>	-			統合/終			<u> </u>		) K(F)	文印	. 4
A			農地を「貸したい」				宇珥! たことか!	こ 貸ん		ты з			指摘事項				相違点		
CTIO	課	面の 題	面積の実績が減 放棄地が拡大する ます。	少しています	が、農業従事	るる。	Fにより、今後 益	な耕り	作 り	めの生活	積が推進	<b>∮できる</b> よ	5、地域座	※全の!	盟催に	ついて冬	ヹゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゠゙゙゚゚	-	
N	と事 計	草案 実行 画	本事業の取り組み 全や耕作放棄地の	みを継続する の解消を行し	ことにより、農 ハます。	<b>農地の集積、集</b>	約を促進させ、	農地保		ev <del>x</del> 1	宋// **]正处	= (000)	ノ、 <i>***</i> *** (正 )	ix	ガルド	- O · C <del>J</del>	,10,0,3	0	
		員会 事項																	

	No. <b>23</b> —	10 基本事務事業	≹名 農業	次世代人	、材投資事業	事務事	業名 農業	<b>美次世代人材</b>	投資事業	公的	目与 2 シ	一卜作成日	令和4年	7月22日
	部局名		業経済部	部	課名	農業振り		主務課長		岡本正和		−ト作成者名		東拓也
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事			金·負担金·支		業運営方法		営		部委託
	争未色力	○ 2 ハード 引			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 <sup>ザ</sup>	<b>未连百刀</b>		-部委託		助等
		基本構想(政策						実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策			興と森林の保全		<u> </u>	1 該当		-		和年		設定なし
		主要施策	(5)	多様な担	い手の育成		0	2 非該当	村	视法令等	農業経営	基盤強化促進	<b>Ĺ法</b>	
		対象(誰を、 何を)	<b>卜内農業</b>	者等										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし		次世代を持足進します	担う農業者となるこ け。	とを志向で	する者に対	対し、就農直後の	の経営確認	立を支援す	る資金を交付	することで、患	農業経営の	継続・発展を
PL			今年度											
AN					ますか。(主なも		-							
N		)			定な時期を下支え									
	事業の	0	•営農資	金·農地 <i>0</i> .	)確保といった課題	に対応で	きる「新規	就農者訪問相	談員」によ	こるサポート	·を行います。			
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名		計算式又	.は指標設定理由	単位		令和 2			3 年度	令和 4		最終目標
	数値目標	新規採択者数				経営体	目標		8		8		10	
	(事業の目的						実績		6		15			
	及び活動内 容の達成度						<u>目標</u> 実績					_		
	を測る指標)						<del>  天</del> 根   日標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般:	会計	款		木水産業費	項	1 農業	費	目 5	農業振り	<b>型</b> 費
			令	和 2	年度決算	令和	3	年度決算	令和	4	年度予算		備考	
		国庫支出	金		69,995 千円			75,999 千円		1	14,469 千円			
			金		千円			千円			千円			
	直接事業費		債		千円			千円			千円			
D	但按爭未其	その他特定財	源		千円			千円			千円			
0			源		700 千円			1,362 千円			8,191 千円			
		計(A)			<b>70,695</b> 千円			77,361 千円			<mark>22,660</mark> 千円			
		正職員工数·経		700 人	4,282 千円			4,262 千円			4,230 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職和			者訪問相談員		就農者訪	問相談員		就農者訪問				
	A 11 =1	臨時·嘱託工数·紹	E費 1.0	000 人	2,240 千円		人	2,380 千円		人	2,356 千円			
	■ 全休里3	業費(A+B)			77,217 千円			84,003 千円		1	<b>29,245</b> 千円			

					ック項目					_	次評値	西		_	-次評価の	の説明	月		二次	評価	i i
		1.	市が実施しな主体があり、						0	少ない	• •	大きに	۸,	を確保す	者など、新 るために			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	況の中、次年	F度以降実 <b>が</b>	施する	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		す。				0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向						0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの仕上回るサービ			隣自治	治体と比較し	,てニーズを -	0	いる	•	いなし	۱,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	が必す	ずしも適切とに	はいえない。	0	いえな	ı ( 🗨	いえる	5		t、就農直 <sup>2</sup> 、農業経営			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンス	ネリ化など、カ	施策への貢献	度が	著しく高いと	<b>まいえない</b> 。	0	いえな	い 💿	いえる	5		変有効な			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で数	頃似・重複	した事	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	١					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期行	待でき	きない。		0	できな	ι	できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣ってし	いると	と思う。		0	目標に	比べて会	劣っている	る		れ達成し 続して新規			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上が、	ってし	いないと思う	, .	0	あまり」	上がってし	ハない			が必要とな			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成して	ている	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成し	してし	いると思う。		0	十分适	成してし	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	, <b>\</b> ,				0	高い	•	適当			者訪問相 的な事業選			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体の	のノウハウヤ	や新たな制度	度を消	活用できる。		0	できる	•	できた	٦L١	ています		ĔĔ₹	天心し	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手具	段等を	を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより:	コスト	ト削減の余地	かある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					一次	<b>欠評</b> 個	<b>T</b>								Ξ	次評	価				
	評化	三	必要性	有効性	達成度		効率性	総合評	呼価		必要	性	7	与効性	達成原	茰	効率	生	総	合評	価
			4		<u> 3</u>		<b>4</b> 方法改善	A D B S S	-T 55		<u>4</u>	 大·充 <sup>§</sup>	<del>-</del>	4   • TEJ	3 		<u>4</u> 方法改善	É		A ■ <del>*</del> =	<i>ተ ላ</i> ታ
		り性	○ 拡大・充乳	実			万 <u>太以普</u> 廃止/休止	〇 民間委	江寺		<ul><li>」 拡∶</li><li>○ 縮/</li></ul>		<u>*                                    </u>	● 現物 統合/終			<u>万法以表</u> 廃止/休		〇 民間	少	<del>[寸</del>
A	731	~) I.T.	○ 相目(1)		物以化	<u> </u>	光工/ 小工				<u> </u>	_			)指摘事項				の相違と		
ACTIO			農業後継者が金本市では、今後						域でも		<b>f規就</b> 別				に、所得向			-			 継続して
Ň	وع	草案 実行 画	新たな担い手の	の確保及び就	農直後のサ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	ト体制を強化	にます。							を強化して						
		員会 i事項																			

	No. <b>23</b> —	11 基本事務事業名	野菜ソムリエ	.沽勤促進	尹務尹未	名   野牙	をソムリエ活動	11促進	公的関与	8 シ	一卜作成日	令和4年	7月22日
	部局名	産業網	圣済部	課名	農業振興	課	主務課長	名	岡本正和	シー	-ト作成者名		<b>‡</b> 久実子
	事業区分	○ 1 ソフト事業		3 経常的事務事			金・負担金・支		運営方法	-	営		部委託
	争未凸刀	○ 2 ハード事業		4 施設の維持管	理   〇 6	內部管	管理事務・その	)他 Text	廷占刀丛		-部委託	✓ 4 補	助等
		基本構想(政策)					実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策)		長興と森林の保全 しょうしょう			1 該当	令和		<b>~</b> 令			
		主要施策	(6)交流と協	働の促進		0	2 非該当	根拠	処法令等	阿波ベジ	舌性化魅力発信	事業費補	助金交付要綱
		対象(誰を、 何を) 野 <sup>菜</sup>	ソムリエ組織										
		目的(どうい 最終 う状態にし		大人まで幅広い年 2消、食育等の推進			野菜や果物の鬼	述力を情報多	後信できる団	体等を支持	援することによ	り、農産物	のブランド化
P L			<mark>F度</mark>										
AN				いますか。(主なも									
N		~	組織に必要な会	議費、研修費、事	務費等に係	る費用を	を支援します。						
	事業の	2											
	活動内容	3											
		4											
		5	I = 1 ++ 10 =						A ==		A ==		
		指標名	計算式入	スは指標設定理由	単位	□ <del>       </del>	令和 2		令和 3		令和 4		最終目標
	数値目標 (事業の目的	PR活動回数				目標 実績		10		10 1		12	
	及び活動内	新規加入者数			人	目標						10	
	容の達成度 を測る指標)												
						実績							
	で別の旧保)					目標							
	予算費目	숲 計	一般	会計	款	目標 実績	┃ ┃ ┃ 木水産業費	項	1  農業費		目 5	農業振興	費
		<u> 숙</u> 計		会計 年度決算	款	目標 実績	本水産業費 年度決算	項		度予算	目 5	農業振興備考	費
	予算費目	国庫支出金				目標 実績 6 農				度予算	目 5		費
	予算費目	国庫支出金県支出金		2 年度決算 <sub>千円</sub> 千円		目標 実績 6 農	年度決算 <sup>千円</sup> 千円			千円	目 5		費
	予算費目	国 庫 支 出 金 県 支 出 金 地 方 債		2 年度決算 千円 千円 千円	令和	目標 実績 6 農	年度決算 千円 千円			千円 千円 千円	目 5		費
DI	予算費目	国庫支出金 県支出金 地方債 その他特定財源		2 年度決算 千円 千円 千円 千円	令和	目標 実績 6 農	年度決算 千円 千円 千円		4 年	千円 千円 千円 千円	目 5		費
DO	予算費目	国庫支出金県 支出金地 方 債 その他特定財源 ー般財源		2 年度決算 千円 千円 千円 25 千円	令和	目標 実績 6 農	年度決算 千円 千円 千円 25 千円		4 年	千円 千円 千円 千円	目 5		費
DI	予算費目	国庫支出金県 支出金地 金地 方 債 その他特定財源 ー般財源 計(A)	令和 2	2 年度決算 千円 千円 千円 25 千円 25 千円	令和	目標 実績 6  農林 3	年度決算 千円 千円 千円 25 千円	令和	4 年	千円 千円 千円 700 千円	目 5		費
DI	予算費目	国庫支出金県 支出金地 方債 その他特定財源 ー般財源 計(A) 正職員工数·経費		2 年度決算 千円 千円 千円 25 千円	令和	目標 実績 6  農林 3	年度決算 千円 千円 千円 25 千円		4 年	千円 千円 千円 千円	目 5		費
DI	予算費目 直接事業費 人件費(B)	国庫支出金県 支出金地 金地 方 債 その他特定財源 ー般財源 計(A)	令和 2	2 年度決算 千円 千円 千円 25 千円 25 千円	令和	目標 実績 6  農林 3	年度決算 千円 千円 千円 25 千円	令和	4 年	千円 千円 千円 700 千円	目 5		費

						ック項目					— <u>}</u>	次評価		_	-次評価の	D説明			二次	評価	Ī
		1.						確保できる等 響は大きくな		0	少ない	● 大	きい	だけでなく		民間団体	本、行	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の	中、次年	度以降実	€施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	<ul><li>ある</li></ul>	3	政などの				0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の回	句上の	ために、	現在の手段	2、方	法等の改善の余	≷地がある。	0	ある	<ul><li>なし</li></ul>	۱,	ノこのノ、火いき	女仏尹未ら	. 与んよ	9 0	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーヒ				[隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	● いた	ない				•	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	学が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	● い	える	野菜ソム野菜や果				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	<b>ノネリ</b> ・	化など、旅	策への貢	献度か	ぎょく高いとに	<b>まいえない</b> 。	0	いえない	● い	える	することか				0	いえない	•	いえる
CH	姓	3.	市が実施する	る施策	の中で類	似・重複	夏した	事務事業が存	在する。	0	する	● した	はい	す。				0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	をして	も成果の	向上が期	月待で	きない。		0	できない	● でき	<b>≛</b> る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	すして	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標にと	どべて劣って	いる	野菜ソム内産の野				0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	すして	成果があ	まり上か	うて	いないと思う	0	0	あまり上	がっていない	١	発信する	様々な活			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	すして	概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達用	<b></b>		ています。	0			0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	すして	十分に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分達成	<b>艾している</b>						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコス	トが高い	١,				0	高い	<ul><li>適</li></ul>	当	野菜ソム	リエが進 <i>め</i> 担すること			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	ҟのノ	ウハウギ	新たな制	度を	活用できる。		•	できる	○ で	きない	率的な農				•	できる	0	できない
	华性	3.	予算・人員と	: 成果	の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	゚゚ゕ゙ある。	0	ある	<ul><li>なし</li></ul>	۱,	す。				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	为方法	の変更な	どにより	リコス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	<ul><li>なし</li></ul>	۸,					0	ある	•	ない
						_	次評	•• •				•			=	次評価	•				
	評值	五点	必要性	1	<b>剪効性</b>	達成原	茰	効率性	総合評	価		必要性	1	有効性	達成原	ŧ	効率性	生	総	合評	価
	<b>△</b> %	を の	<b>4</b> ○ 拡大·充	宝	<b>4</b> ● 現状	<b>4</b> ☆維持		3 方法改善	A ○ 民間委記	千笙	С	<b>4</b> 拡大∙₃	- <b>-</b>	<b>4</b>   ┃● 現状	4 · 維持	〇 方	<u>3</u> 法改善	ŧ		A 『委』	1等
A		り性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止	O KINGE	<del></del>	-			統合/終			<u> </u>		<u> </u>	13 × 11	-
A														評価での					の相違点	į	
TIO			野菜ソムリエ( 独立した組織				す。新	fしい体制へ移	行し、行政に刺	頂らない	野		:===	.ニティ阿波							発信を
N	وع	草案 官行 画	事務局を野菜	シムリ	ノエコミュニ	ニティ阿波	に完	全移行。野菜ソ	 ノムリエの新規	育成。		続して推進	重します	す。 							
		会 事項																			

	No. <b>23</b> —	12 基本事務事業名		性化事業	事務事	業名 産業	<b></b> 養観光活性化	事業	公的関与 8	シート作成	日 令和4年	7月22日
	部局名	産業	経済部	課名	農業振		主務課長		岡本正和	シート作成る		<b>‡</b> 久実子
	事業区分	○ 1 ソフト事業		3 経常的事務			金•負担金•支		E-B-C-T	1 直営		<b>È部委託</b>
	争未区力	○ 2 ハード事	•	4 施設の維持	管理	6 内部管	管理事務・その	D他 事		2 一部委託		甫助等
		基本構想(政策)					実施計画			事業の開始・		
	総合計画			振興と森林の保?	全		1 該当	令		令和		設定なし
		主要施策	(6)交流と抗	協働の促進		0	2 非該当	根	拠法令等 阿波	市農林水産業	振興事業費補	助金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	皮市観光協会									
		目的(どうい 最) 分状態にし	終的地域の資	資源である農産物 <sup>・</sup>	を核とした地	地域おこし	を支援し、本市	の農業・商	業、そして観光の発	展を一体的に	-推し進めます	0
PL		たいのか) 今	年度									
AN		具体的にどのよ										
N		~	そして観光の発	農を一体的に推し	)進めるため	り、地域の	資源である「食	」を核とした	と地域振興の取り組	みを支援しま	す。	
	事業の	2										
	活動内容	3										
		4										
		5			. 1		A ==				<i>t</i>	
		指標名	計算式	又は指標設定理に	由 単位		令和 2		令和 3 年度		4 年度	最終目標
	数値目標	観光客入込客数			万人	目標		120		120	75	
	(事業の目的					実績		74.5		38.1		
	及び活動内 容の達成度					目標						
	を測る指標)					実績 目標						
						実績						
	予算費目	会 計	L —	设会計	款		▲ 本水産業費	項	1 農業費	目	5 農業振り	<b>旦</b>
	77721			2 年度決算		3	年度決算	令和	4 年度予		備考	
		国庫支出金		Ŧ			千円	12 111		千円	, ,,,,, <u>,</u>	
		県支出金		Ŧ	円		千円			千円		
	<b>本拉市米弗</b>	地 方 債		千	円		千円			千円		
D	直接事業費	その他特定財源	i	千	円		千円			千円		
0		一 般 財 源	i	4,000 ∓	円		4,000 千円		4,000	千円		
		計(A)		<b>4,000</b> 千	円		4,000 千円		4,000	千円		
		正職員工数·経費	0.100 人	612 千	円 0.100	人	609 千円	0.100	人 604	千円		
		臨時·嘱託職種										
		臨時·嘱託工数·経費	人	<b>0</b> ∓		人	0 千円		人 0			
	全休事章	業費(A+B)		<b>4,612</b> 千	円		4,609 千円		4.604	千円		

					チェ	ック項目					_	·次評ſ	西		_	-次評価	の説	明		二次	:評価	i
		1.						が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少なし	, ©	)大き	きい		行政の連	携が	不可欠で		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政料	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	3	あり、今ん います。	後も必要な	事業	と考えて	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のため	に、耳	見在の手段	<b>と、方</b>	法等の改善の無	余地がある。	•	ある	0	なし	,1	いまり。				•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いた	まい					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内容	が必	ずしも適切とに	はいえない。	0	いえな	ı O	いえ	える	観光協会	を通じて  産の野菜			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化な	ど、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえ	る	を情報発	信するこ		き、有効	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	ζl۱	と考えま <sup>・</sup>	<b>9</b> 。			0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成	(果の	向上が期	待で	<b>きない。</b>		0	できな	い	)でき	§ 8					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	步状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	いる	観光協会	において			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果	₹があ	まり上が	うて	いないと思う	j 。	0	あまり.	上がってロ	いない		を情報発	信する様	々な	舌動が進	•	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	3目標	を達成し	てい	いると思う。		0	概ね達	を成してい	いる			いますが。 )影響もあ			0	概ね達成	してい	3
	,	4.	目標設定に対	対して十分	分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分道	達成して	いる			難しい状態			0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストカ	ぶ高い	٠,٥				0	高い	0	適	当	観光協会	が進める することに			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウィ	ヽウや	新たな制	度を	活用できる。		•	できる	0	でき	きない	な農業振				•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員の	と成果の関	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	0	なし	۸,	す。				•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	なし	,1					0	ある	•	ない
							次評	•• •				•					次評	••				
	評値	西点	必要性 3	有効	生	達成原	艾	効率性	総合評	呼価		<u>必要</u> 3		1	<b>有効性</b>	達成	<b></b>	効率	生	総	合評	価
	今後	を の		4	 現状	2 :維持		<u>       2        </u> 方法改善	B ○ 民間委	托等	{		大・弁	 字:字:		<u>2</u> 比維持	О	<u>2</u> 方法改氰	Ę		B 『委』	 £等
Δ		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止	0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			<u>○ 縮</u>		ÎÒ	統合/終		_	廃止/休				
A							_							二次	評価での	指摘事項	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO			阿波市農産物施するべきか					⋝算の中で如何 。	]に効果的に事	業を	±				産物と観り							
N	اع	革案 実行 ·画	今一度、事業	・ 内容を見 <sup>・</sup>	つめ直	直し、効果	的な	施策を推進しま	 ミす。		[:	ナた取糸	祖を進	<b>≜める</b> ;	ため、情報	<b>驳交換の</b> 場	易をふ	やすよう	区り組	みを進め	ます	0
		員会  事項																				

	No. <b>23</b> —	13 基本事務事	業名集落	<b>喜営農組</b> 網	哉等推進事業	事務	事業名	集落営農組網	哉等推:	進事業	公的関与 8 シ	ート作成日 令	和4年12月22日			
	部局名		業経済		課名		振興課	主務記				ート作成者名	川原歩夢			
	事業区分	○ 1 ソフト		○ 3 経常的事務事						- 4 4 - 由		営	□ 3 全部委託			
		○ 2 ハード			4 施設の維持	管理 (	〇 6 内	部管理事務		也	2 -	-部委託 ☑	4 補助等			
		基本構想(政						実施計	画	令和		<b>で開始・終了</b>				
	総合計画	基本計画(施		農業の振	全		● 1該当					期間設定なし				
		主要施策	(5)	5)多様な担い手の育成			○ 2 非該			根拠沿	去令等 伝統·挑戦·	・活力の阿波市農業振興	<b>美振興事業費補助金交付要綱</b>			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、 何を)														
		目的(どうい う状態にし	最終的	後的 農業設備等のコストを削減し、農業経営を持続又改善できる体制を確立するため、集落営農の組織化を目指す取組を支援します。												
PL		たいのか)	今年度													
AN		具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
N		)	① 集落営農の組織化を目指す取組を支援します。													
	事業の 活動内容	2														
		3														
		4														
		5		= 1 hh	- , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	由  単位					^	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<u> </u>			
	数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	<u> </u>	計算式又は指標設定理由					令和 2 年度		令和 3 年度	令和 4 年				
		集落営農組織数					目标 実統				0		5(R5)			
							目				0					
						実										
						目										
							実統									
	予算費目	会計		一般	会計	į		農林水産業	貴	項 1	農業費	目 5 農	業振興費			
			令	·和 2	2 年度決算	章 令和	] 3	年度決	算	令和 4	4 年度予算	信	<b>着考</b>			
		国庫支出			Ŧ	-円			千円		千円					
		県 支 出 金		千円			千円				千円					
		地 方 債		千円			千円				千円					
D		その他特定財源		千円					千円		千円					
0		一般財源		0 千円				200		200						
		計(A) <del>工咖啡工料(</del>	▽ 単 ○	100	0 10		0 1		千円	0.100	200 千円	4				
	人件費(B)	正職員工数·絲		100 人	612 <del>1</del>	-円 0.10	00 人	609	千円	0.100 人	604 千円					
		臨時·嘱託職	と 个里													
		臨時·嘱託工数·	奴弗	人	0 <del>T</del>	<u>.</u> m	人	٥	千円	人	0 千円	1				

		チェック項目							一次評価				一次評価の説明				二次評価			
	必要性	1.		はくても、公平 事業を廃止・		〇 少	ない	● 大き	·lı		基幹産業である農業の維持・発 展を目指すため、他市町にはな					<ul><li>大きい</li></ul>				
		2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	F度以降実施	する緊急性が認	思められない。	<ul><li>なし</li></ul>	۸,	<ul><li>ある</li></ul>		い本市独しかし、当	0	ない	•	ある				
		3.	住民満足度の向	句上のために、	現在の手段、	方法等の改善の余	余地がある。	● ある	3	○ ない		を最後に	•	ある	0	ない				
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。						3	<ul><li>いな</li></ul>	い	ズが減少 す。	しているも	のと考え	たま	•	いる	0	いない	
	有効性	1.	施策の目的を写	実現するために	○ <i>い</i> ź	えない	<ul><li>いえ</li></ul>	る	後継者不事業を継				0	いえない	•	いえる				
		2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	● い?	えない	○ いえ	る	業の維持			、灰	•	いえない	0	いえる				
CH		3.	市が実施する	6施策の中で数	<ul><li> する</li></ul>	3	<ul><li>しな</li></ul>	い			0	する	•	しない						
E		4.	事業の継続を	<u></u> ਾ ਹੋ	きない	● でき	<u>გ</u>					0	できない	•	できる					
CK	達成度	1.	目標設定に対	付して進捗状況	○目ᡮ	票に比り	べて劣ってい	る	現在、ま <i>†</i> ませんが		○ 目標に比べて劣っている									
		2.	目標設定に対	<b>;</b> 。	<ul><li>あま</li></ul>	り上が	っていない		は、後継	も並	•	● あまり上がっていない								
		3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。						2達成	行して行うことで、集落営農組織 B達成しているの設立を図っていきます。					組織	○ 概ね達成している				
		4.	. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					O +2	分達成	)達成している					•	一 十分達成している				
	効率性	1.	. 効果に比べてコストが高い。						l,	適当	á	担い手や後継者育成と並行して 事業を行わなければ、集落営農				0	高い	•	適当	
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。						<b>≛</b> る	● でき	ない		の事業継続は難しい				できる	•	できない	
		3.	予算・人員と	<u></u>	3	● ない					•	0	ある	•	ない					
		4.	電子化や契約	り方法の変更な	<u></u>	3	● ない			○ ಹる 💿 ಜು										
					•				•	=										
	評価	五点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	业			有効性 達成度		き :	効率性		総合評価		価	
	<u>م</u>	後の	<b>2</b> ○ 拡大·充	3 	<b>  2</b> 犬維持   ○	_ <b> 4</b> 〕方法改善	C ○ 民間委i	<b>千</b> 笙	0	_ <b>2</b> 拡大∙充	'宝		<u>2</u>		<u>4</u> 去改き	<del>_</del>		<u>C</u> ]委訳	华	
		対性	○ 縮小	. <del>○ 統元</del> /終			〇 民间安市	L <del>11</del>	_	縮小	$\frac{1}{10}$	統合/終			上/休		O KIE	1350	4	
AC							た協策を迅速に	- 展開士				評価での					の相違点	į		
TIO	当課	題	近年の農業環境の変化に対応する阿波市独自の有効的な施策を迅速に の る必要があります。 また集落営農に関しては、取組がないことから、縮小するかどうか検討す があると思われます。																	
N	と事 計	画	を ・ 補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、効果的な施策を推進							す。									,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
		€会 事項																		